

環境分析センター

厚生労働省・水道水質検査精度管理調査で最高の(S)評価に

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご愛顧を賜わり、厚く御礼申し上げます。

さて、この度、厚生労働省が実施する「平成 21 年度水道水質検査の精度管理に関する調査結果」が発表され、弊社環境分析センターは最高の (S) 評価を獲得できましたので、下記のとおりご案内申し上げます。

敬白

記

■対象機関

水道法第 20 条第 3 項の規定に基づき厚生労働大臣の登録を受けた水質検査機関 (213 機関)。
水道事業者等の水質検査機関 (140 機関)。
衛生研究所等の地方公共団体の機関 (42 機関)。

■登録検査機関における精度管理調査の結果

弊社は平成 20 年度に引続き、最高評価である S (登録番号 75) に該当しています。

同調査参加 213 機関のうち、S は 137 機関 (64.9%)、A は 30 機関 (14.2%)、B は 44 機関 (20.9%) となり、C に該当する機関はありませんでした。

■評価基準

統計手法である Z スコア^{注)}をもとに、以下の S、A、B、C の 4 つの階層で評価されます。

S : 平成 21 年度の精度管理調査で全項目 (物質) の評価が「満足」であった機関。

A : 平成 21 年度の精度管理調査で全項目 (物質) の評価に「不満足」及び欠測がなかった機関 (ただし、S を除く)。

B : 平成 21 年度の精度管理調査で「不満足」又は欠測があり、是正処置を講じた機関 (ただし、C を除く)。

C : 過去 3 ヶ年に水道法第 20 条の 12 に基づく改善命令を受けた機関。

なお、過去 1 年間に不適合業務に係る改善指示を発出した機関には S 及び A は付与しないこととした。

注) Z スコアについて

Z スコアとは、極端な結果 (異常値など) の影響を最小にしつつ各データのばらつき度合いを算出するために考案された「ロバストな統計手法」による統計量のことであり、ISO/IEC ガイド 43-1 (JIS Q0043-1) に規定されているものである。具体的には、

$$Z = (x - X) / s$$

で表される。ここで

x = 各データ X = データの第 2 四分位数 (中央値)

s = 0.7413 × (データの第 3 四分位数 - データの第 1 四分位数)

であり、また、データの第 i 四分位数とは、N 個のデータを小さい順に並べた時の [(i(N-1)/4)+1] 番目のデータを示す。(小数の場合はデータ間をその割合で補完して求める) Z スコアの評価基準は、以下のとおりとした。

| Z | ≤ 2 : 満足
2 < | Z | < 3 : 疑義有り
3 ≤ | Z | : 不満足

Z スコアは検査結果のバラツキを見るための指標であり、3 以上であることが直接的に精度が確保できなかったと判断することはできない。例えば検査結果全体のばらつきが小さい時に、平均値からわずかに外れた検査結果の Z スコアの絶対値が 3 以上になる場合がある。

以上